

卓 話

平成 20 年 9 月 2 日

経営の情報管理

萬田国際特許事務所
所長 弁理士 萬田正行様

- 1・企業経営に必要な情報とはなにか。
→人的情報、物的情報、営業(財務)情報の3点である。
- 2・一次情報と二次以降情報の差異について
→一次情報とは現場情報であり一切の加工がない事実情報である。
二次(以降)情報とは一次情報を元に報告書なり第三者へ提供する情報であるが、個人的見解等から少なからず加工されるため一次情報との誤差が生じる。
場合によっては、例えば、マスコミ報道においては、主観の違いから同じ一次情報であっても、提供される情報内容に大きな誤差が生じる場合がある。
- 3・情報収集手段として何があるか。
→インターネット(無料データベース)
政府系データベース(基本的データベース)
有料データベース
調査期間(コンサル)によるデータベース
専門誌、情報誌等
知人、友人による情報はスモールワールド現象と言われ、5人から6人を介すると概ね全ての情報に到達すると言われる。
- 4・情報の取捨選択
→如何に正確、必要な情報を選択するかは各々の事情等により精査が必要である。
一般的に9割強の情報が必要のないものであるのではないかと思われる。
- 5・情報の加工
→情報は一次情報以外は全て加工されたものであり、公開情報は全て加工されたものであるといえる。
- 6・機密情報の保持 7・営業秘密の保護
→営業情報、個人情報等、機密保持が必要な情報はどの企業にもあり、こうした情報管理は不可欠である。
場合によっては、企業の存亡を揺るがしかねない状況に迫りやるかもしれないことから、情報化社会である現在、如何に情報吸収をし、また、情報公開をし、企業の有益性を求めるかが求められている。

